令和７年１１月

各　位

一般社団法人　農業開発研修センター
会 長 理 事　増　　田　　佳　　昭
［公　　印　　省　　略］

令和７年度　ＪＡの営農事業改革に関する研究会の開催について

拝　啓　時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、標記の研究会を別紙要領のとおり、開催します。当センターでは、地域農業の振興・活性化とＪＡの改革に貢献することを目的として、各種の研究会（研修会）を毎年開催しており、全国各地から多数の方々にご参集いただいております。

今年度の標記研究会は、未だ収束しない「令和の米騒動」にも着目しつつ、わが国農業・農政をめぐる情勢を踏まえて、地域農業の再構築に向けたＪＡの「食料・農業戦略」に基づく営農事業改革のあり方について、考えることをねらいに企画・開催します。

つきましては、貴団体・機関の関係者のご参加におきまして、格別のご配慮を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。特にＪＡにおける営農企画担当役職員の方々の積極的なご参加をお待ちしております。

なお、ご希望があれば本要領とは別にメールでもご案内いたしますので、申し添えます。

敬　具

令和７年度

ＪＡの営農事業改革に関する研究会開催要領

主催：一般社団法人農業開発研修センター

≪趣　旨≫

わが国農業をめぐる情勢は、農業者の高齢化や離農による担い手問題の深刻化や未だ高止まりが続く資材価格による農業経営の厳しい状況に加えて、ＪＡの営農事業部門にあっても、農業関連施設の老朽化による改修・修繕等のコスト増など、経営改善が求められている厳しい状況におかれています。

ＪＡグループでは、先秋の第30回ＪＡ全国大会の「食料・農業戦略」において、「食料安全保障への貢献に向けた地域農業の実践」と「担い手のニーズへの対応強化に向けた営農経済事業体制の整備」が提起されました。

また一方、昨年から続く「令和の米騒動」は政府の備蓄米放出を重ねたものの、未だ収束を見たとは言えない状況にあり、改めて、米流通のあり方やわが国農政のあり方が厳しく問われています。

そこで今年度の標記研究会では、未だ収束しない「令和の米騒動」にも着目しつつ、わが国農業・農政をめぐる情勢を踏まえて、地域農業の再構築に向けたＪＡの「食料・農業戦略」に基づく営農事業改革のあり方について、具体的な事例に学びながら考えることをねらいに開催します。

期　　間：令和８年１月２２日（木）～２３日（金）

会　　場：京都ＪＡビル　２０１・２０２会議室（アクセス参照）

対　　象：①単位ＪＡの経営トップ層（営農部署常勤役員、とくに初任者）
②ＪＡ経営管理層(営農企画部署の部課長)
③ＪＡ幹部候補（中核人材研修の受講者、修了者など）
④ＪＡ全農全国本部・都道府県本部、都道府県農協中央会・連合会の役職員 等
⑤その他、関連する農業団体・行政機関などの役職員 等

定　　員：４０名程度

昼　　食：
２３日㈮に弁当（1，４００円（税込））を準備します。ご希望の方は、参加申込書からお申し込みください。

参 加 費：　（税込・一人当たり）

会　　員 ＜＞内は、２名以上をまとめて申し込んだ場合の金額です。	４０，７００円＜３６，３００円＞
非　会　員 ＜＞内は、２名以上をまとめて申し込んだ場合の金額です。	５１，７００円＜４６，２００円＞
会友（個人会員）に新規加入の場合 （令和７・８年度の会友会費7,500円を含む）	４３，２００円

注１：会員は、会員所属者および令和６年度以前からの会友（個人会員）の金額です。
注２：令和６年度以前からの会友（個人会員）の部分受講は、別途割引があります。

※年間予約コースについては別紙をご参照ください。詳しくはメールまたは電話でお問い合わせください。

懇 談 会：

参加者と講師の交流の場とした懇談会を予定しています。ご希望を申込書へご記入ください。

＜開催予定日時＞

と　　き：１月２２日（木）　１７：３０～（９０分程度）

と こ ろ：ホテルエルシエント京都八条口（京都ＪＡビルより徒歩約５分）

懇談会費：７，０００円（消費税込）

申込方法：

①５ページの参加申込書をファックスで送信してください。

②受付完了通知をメールで送信しますので、参加費（昼食代・懇談会費）を送金してください。
なお、振込手数料はご負担ください。

〈振込先〉

京都府信用農業協同組合連合会（京都信連）
本　　店　　当座　　口座番号：６３７３２９１

京都銀行　京都駅前支店　　普通　　口座番号：３１６４０７３

口座名義：一般社団法人農業開発研修センター
（シヤ）　（ノウギヨウカイハツケンシユウセンター）

申込締切日：１月１５日（木）１７：００

当開催要領は、ホームページ（https://agridtc.or.jp/nittei.html）に掲載しています。

キャンセルポリシー：

お申し込み後のキャンセルはキャンセル料が発生しますのでご注意ください。

・１月１５日（木）　１７:００まで ・・・・・・ １０，０００円

・１月１５日（木）　１７:００以降 ・・・・・・ 全額

問い合わせ（申し込み）先：

一般社団法人農業開発研修センター　研究会受付係

〒６０１－８５８５　京都市南区東九条西山王町１（京都ＪＡビル）
ＴＥＬ：０７５－７４８－０７０３
ＦＡＸ：０７５－７４８－０８５５
E-mail：seminar@agridtc.or.jp
ＵＲＬ：https://agridtc.or.jp

アクセス：ＪＲ京都駅（八条口）より徒歩５分

（ＱＲコードもご参照ください）

日　　程：

≪第１日目≫　１月２２日㈭

13:30～13:50　**開会あいさつ・オリエンテーション**

一般社団法人農業開発研修センター　会長理事　　増田　佳昭

13:50～15:10　**報告Ⅰ　農業経営の安定を図るための政策を考える**

（うち質疑応答約10分）　　**－わが国農業をめぐる情勢を踏まえて－**

摂南大学　農学部　　特任教授　　吉　井　邦　恒　氏

○食料農業経済、食料・農業政策が専門。『復興から地域循環型社会の構築へ』、『ＷＴＯ体制下における東アジア農業の現局面 』（農林統計出版）、『公共政策評価の理論と実際』（現代図書）、など多数執筆

○農産物価格の変動による農業生産資材価格の高止まりで、農業者が安心して農業生産に取り組むことができる経営安定化対策の必要性

○米国・ＥＵなど諸外国とわが国における農業経営の安定化を図るための政策の比較から学ぶべきこと

15:10～15:30　休　　憩

15:30～16:50　**報告Ⅱ　わがＪＡのあるべき姿と改革の実践**

（うち質疑応答約10分）　　**－これまでの改革の取り組みとこれからの挑戦－**

群馬県　邑楽館林農業協同組合

代表理事組合長　　阿　部　裕　幸　氏

○平成21年に誕生した１市５町を管内とするＪＡ。組合員総数16,521名（うち、正組合員7,289名）、貯金2,361億円、貸出金294億円、長期共済保有高4,108億円、販売品販売高194億円、購買品供給高56億円（令和６年度実績）

○組合員・地域住民への質の高いサービスの提供と健全経営を実現するための改革への取り組み－職員の副業による農業支援、農産物直売所「ぽんぽこ」・「でんえんマルシェ」を拠点とした販路拡大、喜ばれる店舗づくりを実現するための支所再編など－

○地域社会で果たすべきわがＪＡの役割とトップの役割は何か

17:30～19:00　懇談会

≪第２日目≫　１月２３日㈮

シンポジウム「徹底討論　地域農業の再構築とＪＡの営農事業改革」

9:30～ 9:50　**座長解題**　　滋賀県立大学名誉教授　　増　田　佳　昭　氏

＜座長解題＞

○シンポジウムで議論したい論点と参加者に期待したいこと

○２つの実践報告の関連と意味

9:50～10:50 **実践報告①　地域農業の再構築のためにわがＪＡが実践してきたこと**
－水田地帯における園芸品目の振興による新たな挑戦－

滋賀県　甲賀農業協同組合
代表理事経済担当常務理事　　北　田　松　司　氏

○平成６年に誕生した２市を区域とするＪＡ。組合員総数17,368名（うち、正組合員5,515名）、貯金1,756億円、貸出金257億円、長期共済保有高3,931億円、販売品販売高37億円、購買品供給高14億円（令和６年度実績）
○米の全量買取をはじめ直売所および地元スーパーや生協への販路拡大による園芸品目（果樹）の振興・活性化の実践
○老朽化した共同利用施設の再編を目的に育苗センターを広域育苗センターとして整備。配送センターのリニューアルやカントリーエレベーターの再編など施設再編の実践

10:50～11:00　休　　憩

11:00～12:00 **実践報告②　地域農業の再構築のためにわがＪＡが実践してきたこと**
－元気な産地づくりと農業人材の確保－

長崎県　島原雲仙農業協同組合　営農部　担い手対策課
課　長　　西　川　昌　克　氏

○平成13年に誕生した３市を区域とするＪＡ。組合員総数27,304名（うち、正組合員9,361名）、貯金1,836億円、貸出金383億円、長期共済保有高6,802億円、販売品販売高307億円、購買品供給高132億円（令和６年度実績）
○基本方針にある「実現しよう日本一元気な産地」のスローガンのもと、管内（島原半島）農畜産物を組合長のトップセールスにより地域ブランドのＰＲ活動を展開
○農業人材派遣会社「エヌ」（本店：長崎県平戸市）を通じて特定技能の在留資格を持つ外国人を積極的に受け入れることによる労働力の確保。「リレー派遣」による互いの農繁期ごとに外国人労働者を派遣する協定をＪＡしれとこ斜里と締結

12:00～13:00　昼　　食

13:00～14:10 **討　　論**
（座　　長）前　掲　　増　田　佳　昭　氏
（ｺﾒﾝﾃｰﾀｰ）摂南大学　農学部　　准教授　　川　﨑　訓　昭　氏

14:10～14:30　休　　憩

14:30～15:50 **報告Ⅲ　「令和のコメ騒動」と今後の水田農業政策のあり方**
（うち質疑応答約10分）

茨城大学　学術研究院応用生物学野
教　授　　西　川　邦　夫　氏

○専門は主に農業経済学、農政学。『コメ危機の深層』（日本経済出版）、『水田利用と農業政策－水田フル活用政策の歴史的性格－』（筑波書房）、『東北水田農業の展開と将来像』（東北大学出版会）など多数執筆。
○米の価格形成をめぐる動向と今後の展望
○「令和のコメ騒動」から得られた教訓と水田農業政策の課題

15:50～16:00 **閉会あいさつ**　　一般社団法人農業開発研修センター　常務理事　　瀬津　　孝

注）講師の都合等により、報告時間等が変更になる場合があります。予めご了承ください。

農業開発研修センター　行き
〈ＦＡＸ：０７５－７４８－０８５５〉

令和７年度　ＪＡの営農事業改革に関する研究会参加申込書

〒　　ＴＥＬ　　ＦＡＸ

ご 住 所：

貴機関名：

ご記入者（部課名）　　（お名前）

部課・役職名	参加者氏名	会友同時加入（希望者は○）	昼食(弁当)（希望者は○）	懇談会（希望者は○）
〈　記　入　例　〉 営　農　企　画　課　長	けんしゅう　たろう 研　修　太　郎	○	○	○

※受付完了通知と請求書をメールで送りますのでメールアドレスは必ずご記入いただきますようお願いいたします。

@

〈送 金 状 況〉
１．振込（予定）先 ・・・・・・ イ．京都信連　ロ．京都銀行（該当する記号に○印をつけてください）

２．振込（予定）日 ・・・・・・　　月　　日

注１）必要事項をご記入のうえ、ファックスで送信してください。
　　≪申し込み順に受け付けます。定員に達した時点で締め切り、受付できなかった方には連絡します。≫
　２）ご記入いただいた情報は、研究会の受付事務、参加者に配布する名簿作成、以後の研究会の案内のために使用し、それ以外の目的で使用することはありません。

令和８年度　農業開発研修センター研究会
年間予約コースのご案内

－“人づくり”が重要な今、役職員の年間研修計画にご活用ください－

研究会年間予約コースは、３つのコースを設定しています。各コースの特徴は、年間7回すべてのコースと、信用事業・共済事業を取り上げた金融・共済事業に特化したコース、そして営農事業に特化したコースとなっています。各部門の常勤役員、部課長が、連合会の事業研修にとどまらない幅広い視点から各事業を学ぶ機会として有益なものと考えていますので、是非ともご活用ください。

【メリット】・年間予約制のため受講費の事前確定、受講費の予算化が可能
・役職員の研修計画を担当部署で一括管理が可能

（参加費：税込）

Ⅰ　年間7回のフルコース（２名コース38万円、1名コース25万円）

当センターの年間7回の研究会に１名、ないし２名参加のコースです。ＪＡにかかわる諸問題を幅広く学ぶことができます。出席者の交替も自由なので、とりまとめ部署で、関係役職員の受講を計画的に実施することができます。

○農協問題総合研究会（7月開催）
○地域農業振興に関する研究会（8月開催）
○農産物流通研究会（9月開催）
○ＪＡ共済総合研究会（10月開催）
○特別研究会（11月開催）※各年度の時宜に適ったテーマを設定
○ＪＡの営農事業改革に関する研究会（１月開催）
○ＪＡ金融問題研究会（２月開催）

Ⅱ　金融・共済コース（一人15.4万円）

ＪＡの当面する課題について包括的に学ぶ農協問題総合研究会と、金融、共済の各研究会、それに特別研究会を加えた４回のコースです。金融担当常勤役員、金融関係部課長、幹部候補職員などの受講を想定しています。

○農協問題総合研究会（7月開催）
○ＪＡ共済総合研究会（10月開催）
○特別研究会（11月開催）※各年度の時宜に適ったテーマを設定
○ＪＡ金融問題研究会（2月開催）

Ⅲ　営農経済コース（一人14.3万円）

ＪＡの当面する課題について包括的に学ぶ農協問題総合研究会と、地域農業振興、農産物流通、営農事業改革の４回のコースです。営農経済担当常勤役員、営農関係部課長、幹部候補職員などの受講を想定しています。

○農協問題総合研究会（7月開催）
○地域農業振興に関する研究会（8月開催）
○農産物流通研究会（9月開催）
○ＪＡの営農事業改革に関する研究会（1月開催）

詳細は裏面に掲載しております連絡先までお問い合わせください。

一般社団法人農業開発研修センター

令和８年度農業開発研修センター研究会開催一覧（予定）

※現地視察等については参加費とは別料金

７月　農協問題総合研究会（通算第55回）

【時 期 ・ 期 間】７月中旬　３日間　　【開　催　地】京都（対面開催）
【推奨する参加者】トップ層（組合長・理事長、専務など）、企画担当幹部職員（ＪＡ、連合会、中央会）、ＪＡ幹部候補
【参　加　費】会員・会友：59,400円　　非会員：89,100円

ＪＡ関係者の意識改革と資質の向上を狙いとするとともに、今後のＪＡ運動の展開方向と展開条件を総合的に解明するため、先進ＪＡや専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

８月　地域農業振興に関する研究会（通算第50回）

【時 期 ・ 期 間】８月下旬　２日間　　【開　催　地】京都（対面開催）
【推奨する参加者】トップ層（営農担当役員など）、営農経済担当幹部職員（ＪＡ、連合会、中央会）、市町村議会・農政担当部署
【参　加　費】会員・会友：40,700円　　非会員：51,700円

地域農業振興計画立案・推進関係者の資質の向上を狙いとするとともに、地域農業振興・活性化の課題と対応方向を解明するため、先進事例や専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

９月　農産物流通研究会（通算第57回）

【時 期 ・ 期 間】９月中旬　２日間　　【開　催　地】京都（対面開催）
【推奨する参加者】トップ層（営農担当役員など）、営農経済担当幹部職員（ＪＡ、連合会、中央会）、ＪＡ部会リーダー
【参　加　費】会員・会友：40,700円　　非会員：51,700円

農産物流通に関わる関係者の資質向上と課題解決力の強化に資するため、先進産地や流通業界の専門家等からの多彩な報告とシンポジウムを実施する。開催期間中に現地視察を予定。

10月　ＪＡ共済総合研究会（通算第33回）

【時 期 ・ 期 間】１０月下旬　３日間　　【開　催　地】京都（対面開催）
【推奨する参加者】トップ層（共済担当役員など）、共済担当幹部職員（ＪＡ、連合会、中央会）、ＪＡ幹部候補
【参　加　費】会員・会友：59,400円　　非会員：89,100円

ＪＡ運動とＪＡ経営の双方の視点からＪＡ共済の今日的課題を解明するとともに、今後の事業戦略確立の方向性を探るため、先進ＪＡや専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

11月　特別研究会

【時 期 ・ 期 間】１１月中旬　２日間　　【開　催　地】京都（対面開催）
【推奨する参加者】トップ層、幹部職員（ＪＡ、連合会、中央会）、ＪＡ幹部候補、都道府県農協指導検査部署担当者
【参　加　費】会員・会友：40,700円　　非会員：51,700円

ＪＡの組織基盤強化のあり方について企画内容に力点を置き、事例報告や専門研究者等からの報告と重要課題をテーマにしたシンポジウム方式を採用して実施する。

１月　ＪＡの営農事業改革に関する研究会（通算第５回）

【時 期 ・ 期 間】１月中旬　２日間　　【開　催　地】京都（対面開催）
【推奨する参加者】トップ層（営農担当役員など）、営農担当幹部職員（ＪＡ、連合会、中央会）、ＪＡ幹部候補
【参　加　費】会員・会友：40,700円　　非会員：51,700円

地域農業振興・活性化の課題（地域農業振興計画の策定・実践を含む）の解明とＪＡの営農経済事業の改革方向を探るため、先進事例や専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

２月　ＪＡ金融問題研究会（通算第45回）

【時 期 ・ 期 間】２月上旬　２日間　　【開　催　地】京都（対面開催）
【推奨する参加者】トップ層（信用・共済担当役員など）、信用・共済担当幹部職員（ＪＡ、連合会、中央会）、ＪＡ幹部候補
【参　加　費】会員・会友：40,700円　　非会員：51,700円

ＪＡ金融関係者の資質の向上を狙いとするとともにＪＡ金融をめぐる構造的諸問題を解明するため、事例報告や専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

【連絡先】〒６０１－８５８５
京都市南区東九条西山王町１　京都ＪＡビル内
一般社団法人農業開発研修センター
ＴＥＬ：075－748－0703　　ＦＡＸ：075－748－0855
Mail　：info@agridtc.or.jp
ＵＲＬ：https://agridtc.or.jp/